



# みんな電力

2021 年 9 月 15 日  
株式会社 Evolving G  
みんな電力株式会社

## みんな電力を通じて、横浜の“動くガンダム”が、ハマウイングの電力を利用開始 ～エンターテイメント×再エネで脱炭素を加速～ 「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」へ協賛！

バンダイナムコグループの 株式会社 Evolving G(代表取締役：佐々木新、所在地：東京都杉並区)とみんな電力株式会社(代表取締役：大石英司、所在地：東京都世田谷区)は、横浜市風力発電所「ハマウイング」で発電した電力を 株式会社 Evolving G が運営する「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」に供給することに合意し、5 月より供給を実施しております。

「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」は 2020 年に横浜市の山下ふ頭にオープンした複合施設で、全高 18 メートルの実物大“動くガンダム”が注目を集めています。既に当施設へ再生可能エネルギー100%の電力が供給されており、電力由来の CO2 排出量はゼロとなっております。また、みんな電力株式会社は、9 月より、協賛社として「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」に参画してまいります。



ハマウイング(左) と実物大の“動くガンダム”



©創通・サンライズ

### 1. 取り組みの背景

バンダイナムコグループでは、各事業分野において年度ごとに CO2 排出量の削減目標を設定し、エコに関する取り組みを通じた削減努力を行っています。2020 年度のグループ全体の排出量は 2013 年度対比約 29%の削減となる 52,256t-CO2 となりました。2008 年度から排出量管理とともにユニットごとに原単位※1 による管理も導入し、CO2 排出量の削減に努めています。2021 年 4 月には脱炭素化社会に向けた目標として「2050 年までに自社拠点（社屋、自社工場、直営アミューズメント施設等）におけるエネルギー由来の二酸化炭素排出量実質ゼロ」を掲げ、目標達成に向けた取り組みを推進しています。

みんな電力株式会社は、「Zero Carbon Yokohama」を掲げる横浜市に賛同し、2019 年より再エネを通じた地域連携施策として電力を供給しています（■横浜市とみんな電力の取り組みを参照）。このたび、脱炭素社会の実現に共感いただいた Evolving G の協力を得て、多くのファンを魅了し続けるガンダムとのコラボレーションが実現しました。自治体のみならず、エンターテイメント業界と連携していくことで、再エネ切り替えに対する社会的関心を高め、気候変動問題の解決に貢献していきます。

※1 従業員や延床面積あたりの CO2 排出量

### 2. スキーム概要

ブロックチェーン技術を活用した P2P 電力トラッキングシステム「ENECTION2.0」を利用して、横浜市風力発電所「ハマウイング」で発電した電力を「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」に供給しています。「ENECTION2.0」を通じて 30 分ごとに発電量と需要量をマッチングし、取引として約定。発電所を特定した電力供給を実現しています。

「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」は、再生可能エネルギー100%の電力※2 で CO2 排出量ゼロの事業運営を行っています。

※2 当社の「ENECT RE100 プラン」の電源構成は、FIT 電気 + 再エネ電気で 100%です。うち、FIT 電気分は非化石証書を購入することで再エネ 100%を実現します。なお、インバランス発生時など再エネ比率が 100%にならない場合がありますが、その際も証書により CO2 排出係数ゼロは維持されます。



### 3. 代表者コメント

#### ■ 佐々木 新 （株式会社 Evolving G 代表取締役）

実物大“動くガンダム”を通じて、CO2 排出量の削減とものづくりを両立し、動かすエネルギーを有効活用することを大切にしたいうえでものづくりの素晴らしさを伝えていければと考えております。



#### ■ 大石英司（みんな電力株式会社 代表取締役）

このたび再エネを通じた横浜市のランドマークの連携が生まれました！  
脱炭素社会の実現に向けて、再エネ電力への切り替えは非常に有効な手段であり、ご家庭でも簡単にできるアクションです。今回の取り組みが、ガンダムファンの皆さんが再エネや気候危機問題に関心を持っていただくきっかけになればうれしく思います。  
これからもエンターテインメント業界と力を合わせ、待ったなしの気候危機問題の解決に尽力していきたいと思っています。



#### ■ 横浜市風力発電所「ハマウイング」について

ハマウイングは 2007 年 3 月に運転を開始した、横浜市の環境行動のシンボルの事業です。市民や事業者と連携しながら再生可能エネルギーの普及を進める、都市型立地の風力発電所です。

年間発電量：約 210 万 kWh（一般家庭の年間消費電力量の約 600 世帯分に相当）

定格出力：1,980kW

横浜市 ハマウイング紹介ページ：

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/hama\\_wing/furyoku.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/hama_wing/furyoku.html)

#### ■ 横浜市とみんな電力の取り組みについて

再エネ通じた地域循環共生圏の実現を目指し、2019 年より主に東北地方で発電した電力を横浜市内の事業者に供給しています。

2019 年 9 月～ 青森県横浜町の風力発電電力を横浜市内に供給（計 16 事業者）

2020 年 10 月～ 秋田県八峰町の風力発電電力を横浜市内に供給（計 9 事業者）

2021 年 4 月～ 岩手県軽米町の風力発電電力を横浜市内に供給（計 5 事業者）

また今年 4 月から横浜市風力発電所「ハマウイング」の発電電力を横浜市内に供給しています。（計 3 事業者）

#### ■ みんな電力について

大手印刷会社で新規事業を担当していた大石英司が、再生可能エネルギー事業会社として 2011 年に設立。2016 年に発電者と生活者をつなぐ電力小売りサービス「顔の見える電力™」を始めるなど、「納得感を持って選択する」という体験の提供にこだわり、2020 年には清潔な空気環境の選択につながる空気環境改善事業「みんなエアー」を開始。今後もソーシャル・アップデート・カンパニーとして、独自のブロックチェーン技術を基盤とした「顔の見えるライフスタイル」の実現を目指す。2020 年、第 4 回ジャパン SDGs アワード SDGs 推進本部長（内閣総理大臣）賞を受賞。公式サイト：<https://minden.co.jp/>

#### ■ GUNDAM FACTORY YOKOHAMA について

全高 18m の実物大ガンダムを動かすという夢を実現し、横浜で体感いただく施設です。

『機動戦士ガンダム』TV 放映 40 周年プロジェクトの一環として、株式会社 Evolving G が横浜市と連携し期間限定（2022 年 3 月 31 日まで）でオープンしています。

施設内には、“動くガンダム”を格納・メンテナンスワークを行うデッキ「GUNDAM-DOCK」と、“動くガンダム”の仕組みを楽しみながら学べる展示施設「ACADEMY」などが入った「GUNDAM-LAB」の 2 つのエリアで構成されており、「GUNDAM-DOCK」には、15-18m の高さから“動くガンダム”の頭部やボディを間近に見ることができる特別観覧デッキ「GUNDAM-DOCK TOWER」も設置されています。

ガンダムという海外からも高い注目を集めるコンテンツと日本のものづくり、優れた技術力の融合をライブで体感頂けます。公式サイト：<https://gundam-factory.net/>

#### ■ 本件のお問い合わせ先

##### ～GUNDAM FACTORY YOKOHAMA に関するお問合せ～

GUNDAM FACTORY YOKOHAMA PR 事務局（㈱プラップジャパン内）

担当：吉川（070-2161-6959） Email: g-pr@ml.prap.co.jp

##### ～みんな電力株式会社に関するお問合せ～

広報担当 中村（080-7142-5287） 佐藤（080-7142-5295） E-mail : pr@minden.co.jp